

# 向こう 1 か月の天候の見通し

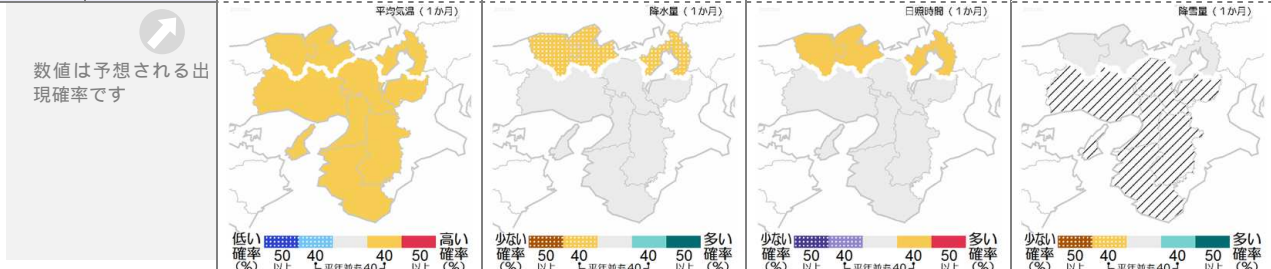
## 近畿地方（12月4日～1月3日）

大阪管区気象台

### 予報のポイント

- 向こう 1 か月の平均気温は、寒気の影響を受けにくい時期があるため、平年並か高いでしょう。期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。
- 冬型の気圧配置が弱いため、日本海側では向こう 1 か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いでしょう。

### 1 か月の平均気温・降水量・日照時間・降雪量

		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）	降雪量（1 か月）
近畿	日本海側	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い 見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並 の見込み	予報しません
 <p>数値は予想される出現確率です</p>		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）	降雪量（1 か月）
		低い確率（%）以上 50 40 平年並ち 40 高い確率（%）以上 50	少ない確率（%）以上 50 40 平年並ち 40 多い確率（%）以上 50	少ない確率（%）以上 50 40 平年並ち 40 多い確率（%）以上 50	少ない確率（%）以上 50 40 平年並ち 40 多い確率（%）以上 50


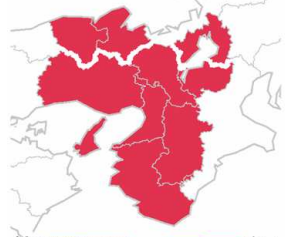
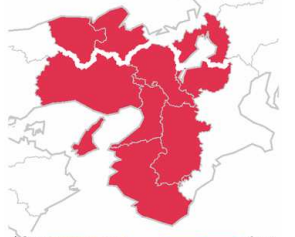




### 週別の天候

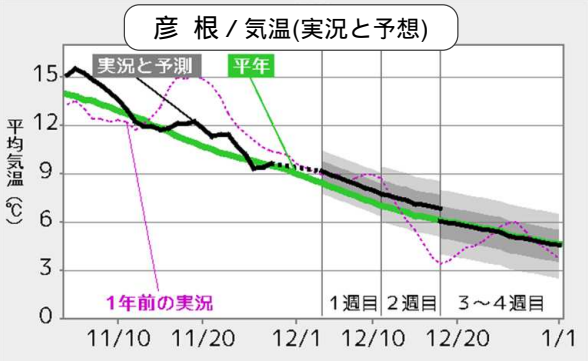
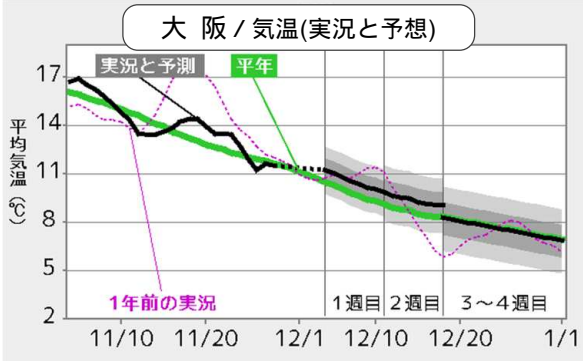
（1 週目） 12 / 4 ~ 10	（2 週目） 12 / 11 ~ 17	（3～4 週目） 12 / 18 ~ 31
<p>日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。</p> <p>太平洋側では、高気圧に覆われて晴れる日もある見込みですが、期間の中頃は気圧の谷の影響で曇りや雨の日があるでしょう。</p>	<p>冬型の気圧配置が弱いでしょう。</p> <p>日本海側では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。</p> <p>太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</p>	<p>日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。</p> <p>太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</p>

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報（<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>）を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1 週目） 12 / 4 ~ 10	平均気温（2 週目） 12 / 11 ~ 17	平均気温（3 ~ 4 週目） 12 / 18 ~ 31
近畿地方	低 20 並 30 高 50% <b>高い</b> 見込み	低 20 並 30 高 50% <b>高い</b> 見込み	低 40 並 30 高 30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み
 数値は予想される 出現確率です	 <p>平均気温（1週目）</p>	 <p>平均気温（2週目）</p>	 <p>平均気温（3~4週目）</p>
			

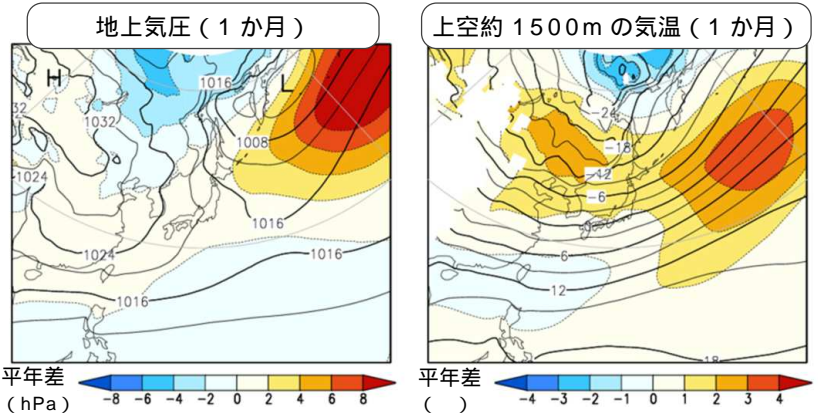


ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、  
気象庁ホームページ  
<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>  
で公開しています。

↑ 予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が 40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は 7 日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧(左図)は、日本付近は平年より高く、等圧線の間隔は広く、冬の気圧配置は弱い見込みです。  
上空約 1500m の気温(右図)は、北日本を中心に平年より高く、北からの寒気の南下は弱い見込みです。沖縄・奄美では平年より低い予測となっていますが、平年との差は小さい見込みです。



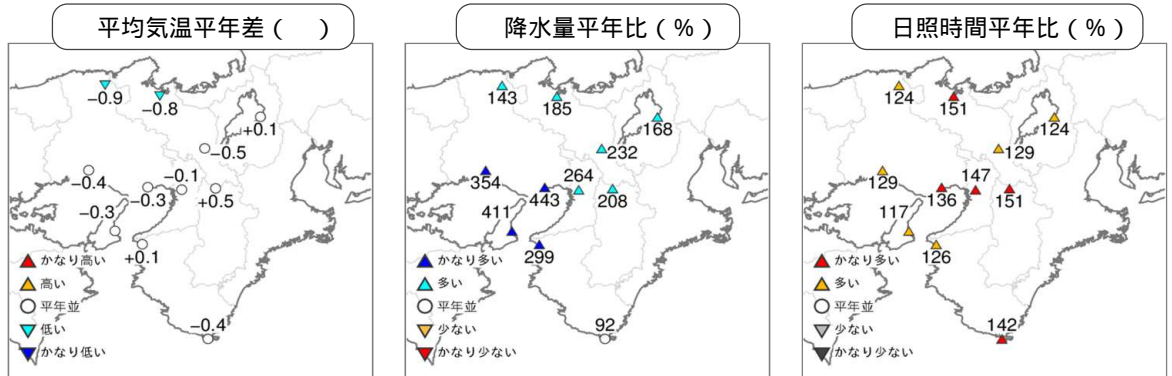
季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過 (実況)

11/25 ~ 12/1

高気圧に覆われて晴れた日がありましたが、期間の前半は寒気の影響で、期間の終わりには寒冷前線が通過した影響で、大雨や荒れた天気となった所がありました。

1 週間の降水量は、平年に比べかなり多くなりました。



(実況) 11/25 ~ 12/1		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比	降雪量平年比
近畿	日本海側	-0.3 (平年並)	165% (多い)	133% (多い)	0% (平年並)
	太平洋側		288% (かなり多い)	135% (かなり多い)	/ % ( / / )

参考データ

平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
近畿地方	平年差: -0.3 ~ +0.6	平年差: -0.4 ~ +0.6	平年差: -0.6 ~ +0.7	平年差: -0.6 ~ +0.8
彦根	6.1 ~ 6.8	7.4 ~ 8.5	6.1 ~ 7.3	4.8 ~ 6.0
大阪	8.2 ~ 9.1	9.4 ~ 10.5	8.1 ~ 9.4	7.1 ~ 8.5

	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)	降雪量 (1 か月)
近畿日本海側	平年比: 87 ~ 114%	平年比: 91 ~ 107%	平年比: 32 ~ 102%
近畿太平洋側	平年比: 69 ~ 129%	平年比: 96 ~ 105%	平年比: 1 ~ 15%
彦根	80.7 ~ 109.5mm	86.0 ~ 102.4 時間	3 ~ 9cm
大阪	32.8 ~ 59.9mm	126.3 ~ 142.4 時間	-

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間 (1991-2020 年) の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い (多い)」、「平年並」、「低い (少ない)」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い (多い) 方から 11 ~ 20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い (多い)」などは、高い (多い) 方から 3 番目までの値に相当します。

晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3 ~ 4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
彦根	10.9 日	11.9 日	3.1 日	2.7 日	2.7 日	2.9 日	5.1 日	6.3 日
大阪	17.4 日	5.3 日	4.5 日	1.5 日	4.2 日	1.4 日	8.8 日	2.4 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 40% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

確率予報の解説 (ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています)

出現確率 (低い (少ない): 平年並: 高い (多い))	解 説
高い (多い) 確率が 50% 以上	高い (多い) 見込み
(20 : 40 : 40)	平年並が高い (多い) 見込み
平年並の確率が 50% 以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い (少ない) 見込み
低い (少ない) 確率が 50% 以上	低い (少ない) 見込み